

～楽しい福祉を皆さんに!!～

# らくふく瓦版

Vol.9



【発行】  
川崎市老人福祉施設事業協会  
〒213-0001  
川崎市高津区溝口1-6-10 てくのかわさき内  
TEL : 044-812-1231 / FAX : 044-812-2077  
<http://www.kawasaki-roushikyo.org/>

## 川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの構築に向けて



健康福祉局 地域包括ケア推進室  
室長 福芝 康祐

本年4月から、地域包括ケア推進室長に就任いたしました。福芝でございます。

皆様におかれましては、日々、利用者の方への介護・福祉サービスの提供に御尽力されるとともに、本市高齢者福祉行政への御理解・御協力を賜りまして、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、国におきましては、団塊の世代が75歳を迎える二〇二五年に向けて、介護・医療・予防という専門的なサービスと、その前提としての住まいと生活支援・福祉サービスが、身近な地域で切れ目なく一體的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を目指しております。



このケアシステムの構築は、障害者や子育て世帯も暮らしあいまちづくりに繋がることから、高齢者をはじめ誰もが住み慣れた地域や本人が望む場での生活を送ることができるよう、取り組みを推進してまいりたいと考えております。

こうしたことを背景として新設されたのが地域包括ケア推進室であり、同様の名を冠した組織を設置している自治体は、大都市では全国初であると聞き及んでいます。

この基本方針の策定に向け、検討・協議を行つていった大く検討委員会の委員に、貴協会の深瀬会長にも御就任いただきてあり、地域包括ケアシステムの構築に向けては、皆様の御協力が不可欠と考えておりますので、今後とも、より一層の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

本市は、高齢化率が18・4パーセントと比較的若い都市ですが、今後、着実に高齢化は進行するため、地域の特徴や強みを活かした「川崎らしい都市型の地域包括ケアシステム」の構築が求められています。

今年度は、「かわさきいきいき長寿プラン」や「かわさきノーマライゼーションプラン」の改訂年であるため、そちらと併せて、個別計画の上位概念となる「(仮称)川崎地域包括ケアシステム推進基本方針」を策定してまいります。



# 福祉施設のご紹介

社会福祉法人 鈴保福祉会  
特別養護老人ホーム しゅくがわら

〒214-0021  
川崎市多摩区宿河原6-20-19  
TEL:044-935-2690 / FAX:044-935-2692

## 事業概要

- ・特別養護老人ホーム 68床
- ・短期入所生活介護 空床型
- ・デイサービスセンター
- 1日定員 25名
- ・居宅介護支援センター
- ・地域包括支援センター
- ・シルバーハウ징生活援助員

## 派遣事業



【生田緑地ヘピクニック】



【施設外観】



【食堂】



【納涼祭の太鼓演奏】

利用者の主体性と人格を尊重し、その人らしい自立支援に向け職員一體となってサービスを提供する基本理念のもと施設運営に努めています。

川崎市特別養護老人ホームしゅくがわらは、平成14年5月に開所した公設民営の施設です。JR宿河原駅より徒歩10分ほど、二ヶ領用水や生田丘陵など緑豊かな四季の移ろいを楽しめる住宅街にあります。

単調になりがちな施設生活にあっても、ご利用者には四季折々の季節を感じて頂くための食事メニューの工夫や、外出行事も多く取り入れ「老人ホームに入つて、こんなにも沢山外出できると思ったわなかつた。」と嬉しい言葉を頂いてあります。

当法人ではスタッフ一人ひとりをかけがえのない財産と考えています。介護は技術・知識も大切ですが、一番は「心」です。

「やさしさ」と「思いやり」をもって、ご利用者の日々を支援しています。

利用者が自分らしく自立した生活があぐれる様、「その人らしい暮らし」「我が家のような暮らし」「在宅でていたことを尊重した暮らし」と「暮らし」に重点を置き取り組んでいます。

家庭的な雰囲気の特養をめざし、利用する全ての皆様から「ありがとうございました。ここを利用しても良かつた」と言われる介護をめざしています。

# 福祉施設のご紹介

社会福祉法人セイワ  
介護老人福祉施設みやうち

〒211-0051  
川崎市中原区宮内1丁目25番1号  
TEL:044-740-2810 / FAX:044-740-2816

特別養護老人ホーム 120床・  
ショートステイ 10床・デイサー  
ビス 25名・居宅介護支援セン  
ター・地域包括支援センターを  
運営しており、障害者支援施設  
も併設されていますのでとても  
大きな施設です。広い廊下と大  
きな窓で明るくゆったりとした  
癒しの空間で、季節の食事や行  
事、日々のレクリエーションな  
ど行き楽しく生活していただい  
ています。

「みやうち」は、中原区宮内  
に平成15年に開設され、約10年  
が過ぎました。武蔵小杉周辺は  
高層ビルなどの開発が進んでい  
ますが、みやうちの周辺は、閑  
静な住宅地と等々力緑地、多摩  
川があり、自然が残されていま  
す。



夏の納涼祭は大盛況で、近所の方たちもたくさん来ていてあります。また、多摩川の花火大会が屋上から見学できるので入居者の方たちに楽しんでいただいています。

【納涼祭】

デイサービスでは、身体を動かせるゲームから園芸、おやつ作りや個々の趣味に合わせた活動も提供できるようにして、充実した1日を過ごしていただけています。



【デイサービスでは収穫した野菜を昼食に召し上がっていただけています】

# 福祉施設のご紹介

社会福祉法人 母子育成会  
高齢者福祉施設しゃんぐりら

〒212-0033  
川崎市幸区東小倉6-1  
TEL:044-520-3860 / FAX:044-520-3861



【食事】



【餅つき（2月）】



【スイカ割り（8月）】

特別養護老人ホーム部門は、本館120名定員（従来型）と増築した別館100名定員（従来型64名・ユニット型36名）の規模です。生活の場は、本館3フロアと別館2フロア、そしてより在宅に近い生活を目指している4ユニットフロアがあります。

しゃんぐりらは、平成16年に開所し、最寄り駅は、JR鹿島田駅・新川崎駅で、東小倉地区にある大規模な都市型の福祉施設となっています。

社会福祉法人母子育成会は、子どもからお年寄りまで、多様な福祉サービスを提供する法人で、その一つの事業として、「高齢者福祉施設しゃんぐりら」があります。

しゃんぐりらは、「食べることの楽しみと大切さ」を生活の要として、季節感を感じる食事内容の変化とバランスのとれた献立づくりにより食事提供をしています。秋には、入居の方、ご家族、隣り町会・自治会、ボランティアの方々、たいへん大勢の参加による「しゃんぐりら祭り」を施設を挙げて開催しています。

それぞれのフロアは、毎月のお楽しみ会や誕生会、外出行事として買い物、お寿司屋さんツアーや見学ツアーや喫茶「ぐり」など、フロアの特色を生かした行事に取り組んでいます。また、フロアのバイキング会は好評で、お腹いっぱいに食べ勇み、みなさんの楽しみの一つとなっています。

「食べる」と「楽しむ」が、一緒に楽しめる活動、歌謡など楽しい演奏、歌声など楽しめながらお過ごしいただいています。

これからも、「しゃんぐりら」は、地域の方々が安心してご利用いただける施設として、ご利用の方ひとり一人の気持ちを大切に、ご利用の方ひとりひとりによりよい福祉サービスの提供に努めてゆきます。



【しゃんぐりら祭り（9月）】



# 福祉施設のご紹介

社会福祉法人 寿楽園  
青田風・風知草・風光

〒216-0001  
川崎市宮前区野川3134-5  
TEL:044-754-1751 / FAX:044-754-1761

社会福祉法人 寿楽園は、昭和27年10月、戦争で身寄りを失った高齢者の生活を支えることを目的とし、佐賀県に開設されました。その後、施設・在宅サービスを幅広く展開し、平成18年10月、川崎事業所を開設しました。

当事業所では、「ケアハウス青田風・ケアハウス風知草」「地域密着型介護老人福祉施設 風光」「ケアプランセンター青鶯」「デイサービスセンター青鶯」「ホームヘルプサービス青鶯」「訪問看護ステーション青鶯」また、医療機関の「風の道クリニック」を設置し高齢者総合福祉施設として、自立の方から要介護5の方まで、様々なニーズにお応えできる事業所を目指しています。



【川崎事業所外観】

当事業所では、毎月、様々な行事を行っており、春には観桜ツアーや鑑賞する花火大会。秋には紅葉ツアーや冬にはご家族にも参加していただき開催する納涼祭、屋上からつき大会など、ご利用者と共にスタッフも楽しい時間を過ごしています。また、職員専用の託児所もあり、子育てしながら勤務する環境も整っており、お母さんがたくさん活躍しています。

社会福祉法人 寿楽園は、昭和27年10月、戦争で身寄りを失った高齢者の生活を支えることを目的とし、佐賀県に開設されました。その後、施設・在宅サービスを幅広く展開し、平成18年10月、川崎事業所を開設しました。

当事業所では、「ケアハウス青田風・ケアハウス風知草」「地域密着型介護老人福祉施設 風光」「ケアプランセンター青鶯」「デイサービスセンター青鶯」「ホームヘルプサービス青鶯」「訪問看護ステーション青鶯」また、医療機関の「風の道クリニック」を設置し高齢者総合福祉施設として、自立の方から要介護5の方まで、様々なニーズにお応えできる事業所を目指しています。



【リハビリ専門職による介護予防体操】



【職員用託児所のクリスマス】

※サンタさんはご利用者です。



【納涼祭】

～楽しい福祉を皆さんに!!～

# らくふく瓦版

Vol.9

## 第32回 囲碁・将棋・連珠・オセロ大会



今年は、新たに4施設を加えた52施設から171名もの参加者にあ集まり、いただき、各種目で熱戦が繰り広げられました。

この催しは、川崎市内の特養入居者やデイサービス等をご利用される方々が、日頃の趣味活動を通じて得た自らの技量を発揮し、施設間の交流を深めていただき、ために毎年開催されています。

今年も川崎市老人福祉施設事業協会主催の第32回川崎市老人福祉施設「囲碁・将棋・連珠・オセロ大会」が、梅雨の曇り空から青空がのぞく中、平成26年6月26日川崎市民プラザで開催されました。

当日は10時から大会参加

のみなさんが一堂に会した中で、当協会の長谷川副会長の「勝負は付きものです」が、交流を楽しんで」との挨拶から始まり、**出場者7名の表彰**、川崎市社会福祉協議会からは男女最高齢参加者へ特別賞が贈られました。その後、ビオラ川崎の碓井玉恵様より、穏やかですが力強い声で「日頃の成果を発揮し、親睦と交流を深め楽しい一日にする事を誓います」と選手宣誓があり、競技がスタートしました。

競技は、特養の部と一般の部に分かれ、各種目別に行われました。真剣に盤面を見つめる姿やにこやかに談笑しながら競技を楽しむ方などさまざまな様子でしたが、何より付き添いの職員の力が入っている応援が印象に残りました。

午前中のプログラムが終了し、昼食の時間となりました。普段とは違い、同じお弁当を職員と参加者が和気あいあいで食べる様子は、「生活の場」ではなかなか体験できない、この大会ならではの情景でした。



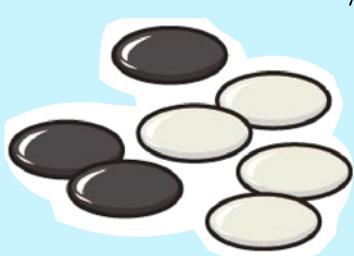
午後の部は、勝ち進んだ方々の和氣あいあいとしながらも勝負を賭けた張りつめた緊張感も漂い、ますます熱のこもった対戦が繰り広げられ、日頃はなかなか連戦をする機会がない方も集中力を切らさず競技をする様子は、同時期に開催されていたブラジルワールドカップに勝るとも劣らないものでした。

今回、新規施設から参加された初出場の方から「これから10回出場表彰を目指して日々頑張っていきたい」という言葉があり、この大会が今後も大いに意義がある集いとして続いくものと確信いたしました。



閉会式では、各部門優勝の皆様には川崎市長賞が川崎市健康福祉局佐藤部長より、また、準優勝・3位入賞の皆様には当協会賞が贈られ、その栄誉が大いに称えられました。

実行委員長の白橋恒春園施設長より、事故なく無事に大会が終了したことについて、ご協力いただいたボランティア及び関係者の皆





～楽しい福祉を皆さんに!!～

# らくふく瓦版

Vol.9



【囲碁】

## 第32回 囲碁・将棋・連珠 オセロ大会



【オセロ】



【将棋】



【最高齢者記念品贈呈（三浦常務理事）】



【連珠】



【準優勝・第3位表彰（石野副会長）】



【優勝者表彰（佐藤部長）】

今後も広報委員で知  
恵をしおり、工夫を凝  
らした誌面作りをして  
まいりますので、よろ  
しくお願いいたします

今日は新設された  
「川崎市地域包括ケア  
推進室」福芝室長のご  
挨拶をトップ記事に、  
「第32回囲碁・将棋・  
連珠・オセロ大会」の  
模様と、恒例となつて  
あります施設紹介記事  
を掲載いたしました。

「らくふく瓦版」も  
早いもので第9号を発  
行することになります  
た。

「らくふく瓦版」も  
カツブもアツという間  
に終わり、静かな夜を  
過ごしていらっしゃる  
方も多いと思います。

## 編集後記